

ボランティア

さい おんせん
崔 恩銓 (台湾)

こんにちは、台湾から参りました。サイオンセンと申します。今日はボランティアについて、話したいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

ボランティアというのはお金のためじゃなくて、自分の時間や力や知識を他人に対して、貢献し、役に立つことです。一般的な特徴は自発（じはつ）性、無償（むしょう）性、利他性（りた）、先駆性（せんく）の4つであります。生活の中で、小学校放課後（ほうかご）の交通サポートガイドや自警団（じけいだん）などは生活の中でよく見られます。

私の経験としては、台湾にいるとき、地方の協会の関連で、一人暮らしの高齢者の家を掃除したり、一緒にスーパーで買い物したりことがあります。台湾では、旧正月の前に、よくあるボランティア活動は独身高齢者の家の掃除の手伝いとか、無料のご飯をホームレスに提供することです。

地方の協会の方と相談した上で、この人の家に掃除に入るか入らないかを判断して、行動しました。その時は単純な掃除をしたり、話かけたり、めっちゃ簡単な仕事だ思っていました。現場に行くと、全然簡単ではなかったんです。原因はなぜかという、長い間ずっと人と連絡を取っていない人間に対して、人との警戒心があって、話の話題とか、掃除の範囲とか、気をつけないと、相手と緊張する関係になることもあるのだそうです。

「色々なことを気をつけないと、逆に相手に迷惑になるかあ」その時の僕は、今まで考えてなかったことを発見しました。やはり一方的にこれがいいから、やってあげるとい

のではなくて、本当に相手に役に立つか迷惑になるか、十分に考えてから、行わなければ、時間と力を無駄にすることになるかもしれません。

昔ボランティアの立場で人に力を貸してあげた僕は、今は立場が変わって、ボランティアの方の世話になり、日本語の授業を受けています。外国人に対して、外国で生活する上で、現地の人達と交流することはとても大切なことだと思います。

今まで、柏市国際交流協会からお世話になって、岡田先生とボランティアのみんなから、色々な勉強ができて、異国のクラスメートと友達になれて、本当に嬉しいです。この機会に、感謝の気持ちを伝えたいです。来月はもうすぐ年度末なので、来年もどうぞよろしく願いいたします。ご静聴ありがとうございました。